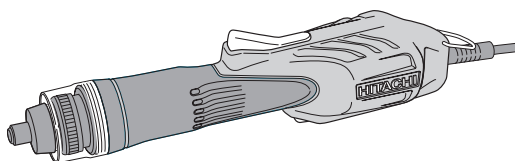
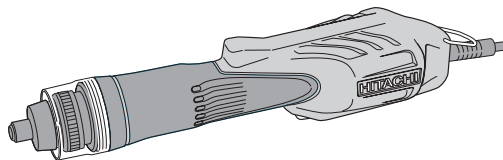
Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

用途
●小ねじ、タッピンねじ、止めねじの締付け
●ナット、ボルトの締付け

日立 電動ドライバ

3 mm WT 3G WT 3GP
4 mm WT 4G WT 4GP
5 mm WT 5G WT 5GP

このたびは日立電動ドライバをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

WT 5G

WT 5GP

はじめに

使い方

その他

HITACHI

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⚠警告

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⚠警告

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に 回 マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電動ドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 電動ドライバは、必ず屋内で使用してください。
- 屋外での使用は、故障やけがの原因になります。

② 雨の中や水中、または湿ったりぬれた場所では使用しないでください。
- ぬれた場所で使用すると、故障やけがの原因になります。

③ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

④ 直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。
- 製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

⑤ 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
- 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

⑦ 使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
- けがの原因になります。

⑧ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑨ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

① **工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
- 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

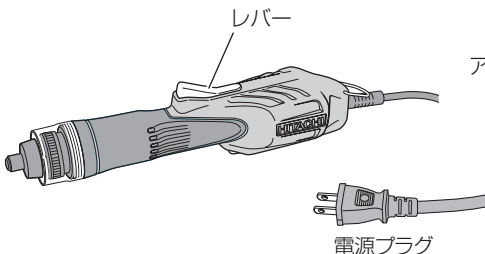
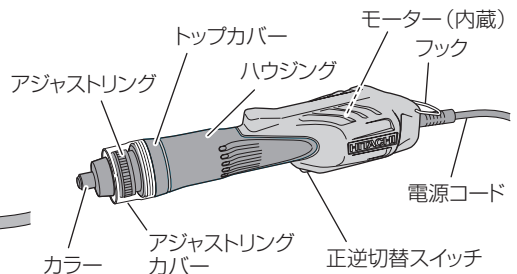
③ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。**
- 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

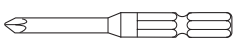
④ **トルク設定時は、ドライバ本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 回転させたままで行うと、けがの原因になります。
  電源プラグを抜かないで設定を行うと、不意にスイッチが入ることがあり危険です。

⑤ **ねじの締付けは、ねじと本体をまっすぐにして締付けてください。**
- 締付けるねじに対し本体が斜めになると、ねじ頭部を傷めたり、所定の締付け力がねじに伝わりません。

⑥ **締付けトルクは、製品の動作状態、持ち方、ねじの種類、締付け条件等により変化することがありますので、適正締付けトルクになっているか、定期的にトルクレンチ等で確認してください。**

⑦ **ねじ径に合ったビットを使用してください。**
- ねじ径に合ったビットを使用しないと、ねじ頭部やビットを傷める原因になります。

各部の名称

仕　様

形　　　名		WT 3G	WT 3GP	WT 4G	WT 4GP	WT 5G	WT 5GP
スタート方式		レバー	プッシュ	レバー	プッシュ	レバー	プッシュ
使用電源		単相交流 50／60 Hz 共用　電圧 100 V					
能力	小ねじ	M 1.2～M 3		M 2～M 4		M 3～M 5	
	タッピンねじ	φ 1.2～φ 3		φ 2～φ 4		φ 3～φ 5	
締付けトルク		0.05～0.8 N·m {0.5～8 kgf·cm}		0.2～2.0 N·m {2～20 kgf·cm}		0.7～3.0 N·m {7～30 kgf·cm}	
無負荷回転数		高速 1200 min^{-1} (回／分)				高速 900 min^{-1} (回／分)	
		中速 900 min^{-1} (回／分)				中速 700 min^{-1} (回／分)	
		低速 600 min^{-1} (回／分)				低速 500 min^{-1} (回／分)	
モーター		ブラシレスモーター					
全負荷電流		0.35 A		0.65 A			
消費電力		20 W		40 W			
全　　長		251 mm	253 mm	283 mm	285 mm	283 mm	285 mm
質　　量		520 g（コード除く）		710 g（コード除く）			
コード		2心キャブタイヤコード 3 m					

標準付属品

品名 ＼ 形名	WT 3G WT 3GP	WT 4G WT 4GP	WT 5G WT 5GP
No. 1 プラスビット（ダンツキ）	1個	—	—
No. 2 プラスビット（ダンツキ）	1個	—	—
No. 1 プラスビット	—	1個	—
No. 2 プラスビット	—	1個	1個
締付け力調整用スプリング（弱）（白色）	1個	1個	1個
締付け力調整用スプリング（強）（黒色）	1個	1個	1個

※締付け力調整用スプリング（強）は工場出荷時、本体に組込まれています。

別売部品

詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

形　　状	品　　名	全長・寸法(mm)		ねじ頭	適用ねじ
	No. 0 プラスビット（ダンツキ）	50			M 1.2 ～ 1.7
		70			
	No. 1 プラスビット（ダンツキ）	50 ※1			M 2 ～ 2.6
		70			
	No. 2 プラスビット（ダンツキ）	50 ※1			M 3 ～ 5
		70			
	No. 1 プラスビット	70 ※2			M 2 ～ 2.6
		100			
	No. 2 プラスビット	70 ※2 ※3			M 3 ～ 5
		100			
T			T		
	1.6 mmドライバビット	50	0.35		M 1.6 ～ 1.7
	2 mmドライバビット	50	0.55		M 2 ～ 2.3
	3 mmドライバビット	70	0.7		M 2.5 ～ 3
	4 mmドライバビット	70	0.8		M 3.5 ～ 4.5
	5 mmドライバビット	70	1.0		M 5
	3 mmトメネ用ドライバビット	50	0.35		M 3
	4 mmトメネ用ドライバビット	70	0.55		M 4
B			B		
	3 mmヘグザゴンビット	70	2.5		M 3
	4 mmヘグザゴンビット	70	3.0		M 4
	5 mmヘグザゴンビット	70	4.0		M 5
B			B		
	2 mmヘグザゴンソケット	60	4.0		M 2
	3 mmヘグザゴンソケット	60	5.5		M 3
	4 mmヘグザゴンソケット	60	7.0		M 4
	5 mmヘグザゴンソケット	60	8.0		M 5

※1 はWT 3G、WT 3GPの標準付属品
※2 はWT 4G、WT 4GPの標準付属品
※3 はWT 5G、WT 5GPの標準付属品

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合

⚠警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

下表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ（mm^2）	最大長さ（m）
0.75	20
1.25	30
2	50

●使用電源の確認

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

●電源コードの確認

⚠警告

電源コードを本体に接続しない状態では、絶対に電源プラグをコンセントにさし込まないでください。

電源プラグをコンセントにさし込む前に、必ず電源コードが本体に接続されていることを確認してください。また、電源プラグをコンセントにさし込んだまま電源コードを本体から取りはずさないでください。

本体と電源コードの接続部がガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

ねじを締める／はずす

●小ねじ、タッピンねじ止めねじの締付け
●ナット、ボルトの締付け

⚠警告

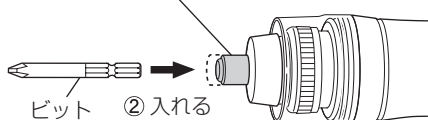
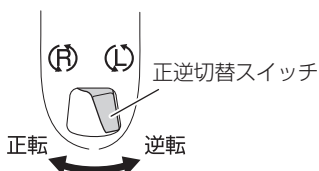
- ビットの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは、直ちに点検・修理に出してください。

⚠注意

- ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビット、カラーは高温になっているので触れないでください。
- 連続的な作業に使用する際は、アジャストリングが熱くなるので、手を触れないでください。

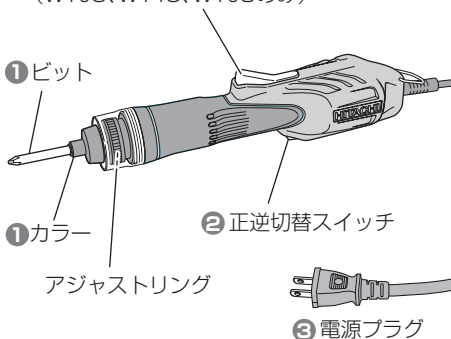
1 ビットを取付ける

① 引く　カラー　③ はなす

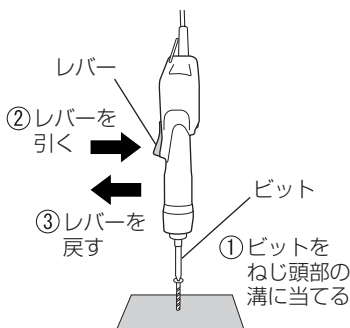
ビット　② 入れる

2 回転方向を合わせる

- 正逆切替スイッチのツマミを、ねじの締付け方向に合わせます。
- 中間の位置では起動しませんので、作業しない場合は中間の位置に合わせてください。

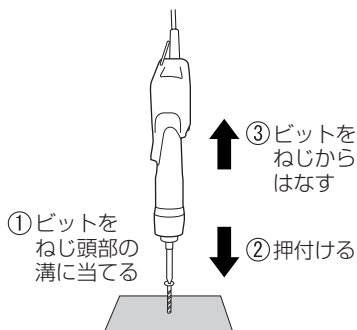
3 電源プラグをコンセントにさし込む

（P 8 の「使用電源の確認」「コンセントの確認」「電源コードの確認」参照）

スイッチを入れる

WT 3G、WT 4G、WT 5Gの場合

ビットをねじ頭部の溝に当て、レバーを引くと、起動スイッチが入りビットが回転し、ねじを締付けます。
設定した締付け力になると、ビットの回転が止まり締付けが完了します。

注 **締付け完了後は、レバーを戻さないと次の締付けができません。**

WT 3GP、WT 4GP、WT 5GPの場合

ビットをねじ頭部の溝に当て、本体を押付けると、起動スイッチが入りビットが回転し、ねじを締付けます。
設定した締付け力になると、ビットの回転が止まり締付けが完了します。

注 **本機は押付ける力により締付け力が変化しない構造になっておりますが、締付け完了時の反動に負けない程度に押付けてご使用ください。**

逆転操作のしかた

正逆切替スイッチのツマミを「L」表示の方向に合わせると、ビットは後方から見て左へ回り、ねじをゆるめます。
この場合は、クラッチが作動しても電流が切れず、インパクト効果によりゆるめる事ができますが、長時間のインパクトは、ギヤ、クラッチ回りの摩耗を早めますので、固く締付けられたねじはトクル設定を大きくしてゆるめてください。

注
- **回転方向を変えるときは、必ずモーターの回転が止まってから、正逆切替スイッチを操作してください。**
  モーターの回転中に正逆切替スイッチを切替えると、故障の原因になります。
- **回転中に正逆切替スイッチが切替わると、モーターは安全のため停止するように制御されています。**
  この場合は、一度スイッチを切ってから、再度スイッチを入れると起動します。
- **正逆切替スイッチが中間の位置でスイッチを入れても回転しません。**
  また、スイッチを入れた状態で正逆切替スイッチを「R」または「L」に倒しても回転しません。
  一度スイッチを切ってから、再度スイッチを入れると起動します。
  正逆切替スイッチの切替えは、必ずスイッチが切れた状態で行ってください。

締付け力の調整

●締付け力の調整機構について

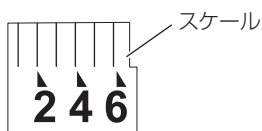
⚠警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

本機は、スプリングの押圧力で締付け力を調整するクラッチを有し、設定された締付け力が働いたとき、そのクラッチが作動し、それを制御回路がキャッチしてモーターの電源を切ると同時にブレーキを働かせて瞬時に回転を停止させる機構になっています。

この機構により、使用するねじ径に適した締付け力に調整することができます。
締付け力の調整は、下記「締付け力調整のしかた」の項をご参照ください。

●締付け力の表示について

本機は、トップカバーのスケール部に目盛りと2、4、6の数字を表示してあります。各目盛りにおける締付けトルクは、P 12の「締付け力目安」にほぼ相当します。

●締付け力調整のしかた

締付け力を調整するときは、アジャストリングカバーをゆるむ方向へ回して、はずしてください。

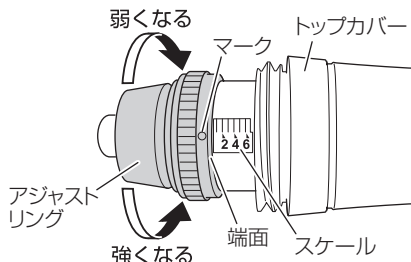
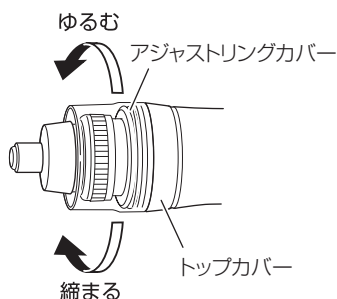
締付け力の調整後は、誤って調整をいじらないように、アジャストリングカバーを装着してください。

「締付け力目安」にしたがい、アジャストリングを回し、アジャストリングの端面をスケールの目盛りに合わせた後に、マークの位置をスケール中央に合わせます。

本体を押付け（WT3G・4G・5Gの場合はレバーを引いてから）、起動スイッチを入れて締付けを行い、ビットが自動的に停止し締付けが完了したところで、その締付け力を測定します。

締付け力が不足しているときは、アジャストリングを強くなる側に回します。

逆に強すぎるときは、アジャストリングを弱くなる側に回します。

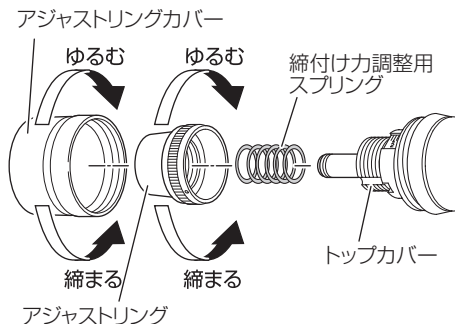
以上のように調整して、ちょうど良い締付け力に設定してから、実際の作業を行ってください。

●締付け力調整用スプリングの交換

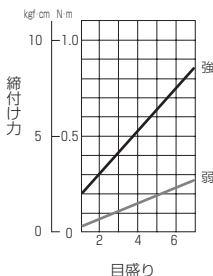
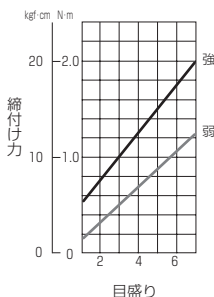
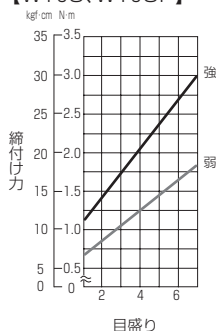
⚠警告

締付け力調整用スプリングを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

締付け力調整用スプリングの交換は、アジャストリングをトップカバーからはずして行います。

ＷＴ３Ｇ、ＷＴ３ＧＰ、ＷＴ４Ｇ、ＷＴ４ＧＰ、ＷＴ５Ｇ、ＷＴ５ＧＰいずれにも強（黒色）、弱（白色）２種類の締付け力調整用スプリングがあります。

（出荷時には、いずれも強（黒色）のスプリングが組込まれています。）

締付け力目安

【WT3G、WT3GP】

【WT4G、WT4GP】

【WT5G、WT5GP】

※締付け力は、高速・中速・低速いずれの場合も同じです。
※図中　強:黒色スプリング　弱:白色スプリングの場合

注

- **アジャストリングのマークを目盛りの１以下にすると、ビットが回らない場合があります。**
- **締付け力は、締付けねじの種類、締付け材料などにより異なるので、上記の「締付け力目安表」は一応の目安と考えてください。**
- **タッピンねじなどを締付ける場合、下穴の形状、寸法、締付け材料などにより、ねじ込む力が異なるので、締付けのできない場合があります。**
  途中までしかねじ込めない場合は、ねじ込む力を確認し、適正な締付け力に調整してください。
- **トルク不足でねじが浮いた状態で停止した場合、再起動しないことがあります。**
  その場合には、WT３G、WT４G、WT５Gは、もう一度レバーを引き、WT３GP、WT４GP、WT５GPは、もう一度本体を押しつけ、再起動させてください。

使い方

締付け回転数切替機能について

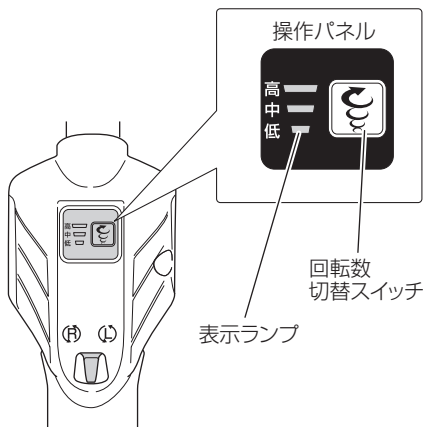
⚠注意

- **操作パネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。**
- **回転数切替は、起動していない状態で行ってください。**
  故障の原因になります。

本体側面の回転数切替スイッチを切替えることにより、作業に応じた回転数に調整できます。

回転数切替スイッチについて

回転数切替スイッチを押すごとに、回転数が 3 段階に切替わります。

注 **ねじや締付け部材によって回転数は異なります。回転数の設定は数本ねじを試し締めし、調整してください。**

回転数切替機能の設定例

		低速	中速	高速
表示ランプ		高 中 低	高 中 低	高 中 低
回転数	WT 3G 、WT 3GP WT 4G 、WT 4GP	600 min⁻¹ (回/分)	900 min⁻¹ (回/分)	1200 min⁻¹ (回/分)
	WT 5G 、WT 5GP	500 min⁻¹ (回/分)	700 min⁻¹ (回/分)	900 min⁻¹ (回/分)
作 業 例		丁寧作業	慎重作業	スピード重視作業
		ねじ足の短い 小ねじの締付け等	タッピンねじによる 締付け等	メートルねじによる 金属部材の締付け等

保護回路動作表示と解除方法

本製品は制御回路やモーターの保護と締付作業の誤動作を防止するための保護回路を内蔵しています。保護回路は常に電流や各種信号を監視し、異常を発見した場合には、本体の運転を停止させ、LEDの表示ランプを点滅させて異常をお知らせします。

本製品を使用中に運転が停止し、LEDの表示ランプが点滅した場合は、次の方法で解除してください。

<table>
<tr><th>表示ランプのLED表示</th><th>原　因</th><th>解除方法</th></tr>
<tr><td>高
中
低
「高」表示点滅</td><td>外来ノイズなどによる
過電流を検知</td><td rowspan="2">回転数切替スイッチを押すと
点滅表示が解除され、
正常に使用できます。</td></tr>
<tr><td>高
中
低
「中」表示点滅</td><td>外来ノイズなどによる
モーターの回転異常を検知</td></tr>
</table>

エラー表示が出た場合は、適正のトルクで締まっていない場合がありますので、そのときのねじは、はずして締め直してください。

また、エラー表示は雷や静電等から本体を守るための保護回路でもあります。解除後、正常に動作する場合は故障ではありません。

ただし、雷サージや静電気対策をしても頻繁にエラー表示が出る場合は、電気系統やモーターの故障も考えられますので、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保守・点検

⚠警告

点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので
新品と交換してください。

●ハウジング内部の取扱について

ハウジング内部(P5「各部の名称」参照)は機体の重要な部分です。
洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 **ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。**
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●製品や付属品の保管

使用しない機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した
場所に保管してください。

注
- **お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。**
- **軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。**
- **温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。**
- **引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。**

●取付ねじの点検

機体のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締め直してください。

●お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00

●フリーダイヤル
0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783−0626	TEL (076) 263−4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896−1740	TEL (0798) 37−2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288−8676	TEL (082) 504−8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733−0255	TEL (087) 863−6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533−0231	TEL (092) 621−5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

右の QRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号（品川インターシティA棟）
営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

412
部品コード　C99192503 N